

平成27年度の主な事業報告

社会福祉法人 京都ライフサポート協会

社会福祉事業

法人本部

- ① 京都市の若杉学園の再整備事業に取り組み、年度末までに施設の竣工に無事こぎつけた。
- ② 次年度から始まる社会福祉法人改革に向け、さらに各種認証資格取得に向け、体制の整備にとりかかった。

横手通り 43 番地「庵」

- ① 利用者は概ね健康にすごしていた。が、1月下旬から2月にかけてインフルエンザが流行した。
- ② 土・日の帰宅者の減少(ご家族の高齢化による)に伴い、週末の余暇活動の充実が必要で、土・日の職員配置等、今後の課題として差し迫ってきた。
- ③ 新施設開所のため、ユニットの職員等に大幅な異動があったものの、懸命に伝統を引き継ぎ、利用者支援に取り組んでいる。
- ④ デイはアートギャッベ、その他の製品作り、筍等の野菜が、見学者の称賛をあびることも多かった。
- ⑤ 報酬を改定があり、ユニット単位・手厚い職員配置などの評価で、増収となった。
- ⑥ 第1期大規模修繕を開始し、2棟の外壁の塗り替え他を実施した。
- ⑦ ショートステイを積極的に受け入れ、緊急ショートの受け入れをも実施した。

工房グリーンフィールド

- ① 法人の長年の障がい者就労の業績に対し、平成27年度障害者雇用功労団体知事表彰受賞。
- ② 就労移行の本来の動きを強化し、就職支援に一層取り組んだ結果、3名が就職した。
- ③ 就職者を出していることが評価され、報酬が増加した。
- ④ 弁当事業が職員配置の関係で安定せず、問題をかかえたまま越年することとなった。
- ⑤ リネンのW社から順調に仕事をいただき、それぞれの自立した作業となっている。
- ⑥ 特養の清掃・洗濯事業はA型の利用者を就職やその他で送り出すことが何度かあり、その都度新しい方に来てもらうまで、ブランクが生じた。

工房あんじゅ

- ① 就職支援を行い、3名を送り出した。

- ② 生活困窮者等の体験事業は利用希望者がなかなか現れず苦戦した。
- ③ レストラン事業の客数は横ばいであるものの、接客のレベルは上がっており、多くのメディアに取り上げていただいた。
- ④ 別館の作業環境の充実と仕事のシステム化に取り組んできた。
- ⑤ 別館建物の改修に向け、準備をすすめている。
- ⑥ 心障センターの清掃事業は、評価高く継続している。

児童デイサービスあん

- ① 待機者がいるため、調整を必要とするほどであった。2か所目が課題となっている。
- ② ミーティングや定期的な会議で、支援の統一に努めた。
- ③ 親子でハイキングなどの行事に積極的に取り組んだ。

あん'ず京田辺「わくわく」他（GH 全体）

- ① 1名入院者が出たものの、概ね健康で、穏やかに過ごすことができた。
- ② 「庵」と連携を深めることで、応援の組みやすい体制となるようにした。
- ③ わくわくと三山木では、計画的なショートステイの受け入れに努め、利用される方が宿泊を楽しみに待つようになってきた。

発達障害者山城南圏域支援センター

- ① 相談件数が飛躍的に増え、対象も乳幼児から成人までと幅広く、深刻な悩みも増えている。
- ② 専門性を高めるため、研修にその都度参加するようにしている。

障害者生活支援センター「あん」・「あんじゅ」・「あんふあん」

- ① 計画相談契約者数が全体で 229 件となり、一人当たりの件数は許容量を超えてきている。
- ② サービスの少ない京都府南部では、相談専門員も相当なストレスを抱えることが多かった。

サポートステーションあん

- ① 徐々にニーズが増えており、応じきれないことがままある。
- ② 相談と連携することで、よりきめ細かい支援ができるようになった。

公益事業

しょうがい者就業・生活支援センター「あん」

- ① 4月から木津駅前に移転しアクセスが良くなったため、相談数も増え、且つ他機関との連携もよくなった。
- ② 一般就職者 34 名を送り出した。
- ③ 研修に積極的に参加している。

収益事業

無